

第18回 全国生涯学習フェスティバル

まなびピアいばらき 2006



10月5日(木)、第18回全国生涯学習フェスティバル“まなびピアいばらき2006”のオープニングセレモニーが、主会場の笠松運動公園で盛大に開催されました。

オープニングセレモニーでは、東海村立舟石川小学校吹奏楽部による演奏や、ひたちなか市たかば保育園・清心保育園の園児による合唱、茨城県連合若鷺会による寿パフォーマンスなどが披露されました。台風の影響で6日(金)、7日(土)の2日間は、笠松運動公園内で行われる予定だった全てのイベントが中止となり、5日(木)、8日(日)、9日(月・祝)の3日間みの開催となりました。

笠松運動公園では、生涯学習実践団体・企業・学校・行政などが多彩な情報を展示・発表する「生涯学習見本市」、屋外テント内で来場者向けの体験教室やステージ発表を行う「生涯学習体験広場」などが開催されました。また、大道芸人による路上パフォーマンスや、笠松運動公園会場のグランドフィナーレとして自由演奏会・大合唱祭なども行われました。

【生涯学習体験広場】

『書字マラソン体験』

ひたちなか市磯崎町在住

根本祐一(ねもとゆういち)さん



字を書く楽しみ 再発見

『もっと字を書こう、もっと手で書こう』をスローガンに、来訪者1人1字マラソン形式で決められたマス目に教養漢字を書いてもらい、教養漢字全1006字達成を目指す。活字離れが叫ばれる昨今、気軽に楽しみながら漢字に触れ、毛筆を楽しむ。

体験者の声

○字を書く機会が少なくなっている現代。ましてや筆を持つ機会などさらに少ない。久しぶりに筆を持ったが、昔を思い出し、自然と心が落ち着いた。
○今まで書道とは大変なものだと思っていたが、こちらの書字は道具も簡単。筆と墨つぼと100円ノートでとても手軽にできるところが素晴らしい。私も今から始めようと思います。

【生涯学習見本市】

教育機関や企業、行政機関などが、生涯学習活動を展示や体験で紹介した『生涯学習見本市』。

ひたちなか市も屋内水泳プール兼アイススケート場2階に、様々な生涯学習活動を中心に観光名所や史跡などの紹介を、パネル展示や映像を通して出展しました。ひたちなか親善大使も元気いっぱいの笑顔でひたちなか市のPRをしていました。小学生や中学生、さらにはグループ・家族連れなど幅広い世代の人たちが、パンフレットや資料を手に取り、スタッフに質問する様子も多く見られ、終日、ひたちなか市のブースは活気に溢れていました。



ひたちなか親善大使もイベントに花を添えました